



活動事例 75

よかところ



はじめての芋ほり体験に興味津々の新潟県からの修学旅行生

団体の紹介 *introduction*

特産品の販売や修学旅行生の受け入れなどを事業化し、収益を上げることで将来的には区費の半減を目標としています。



焼石を入れて沸かした海水に薬草を浮かべて楽しむ瀬風呂

メッセージ
Message

人口減少、少子高齢化が進み、校区予算が減少し、校区の運営が厳しくなっています。「よかところ安納自立協議会」の活動を通して、少しでも現状を改善し、校区の活性化につなげていきたいです。

あんのう じりつきょうぎ かい 安納自立協議会

主な活動内容 *action*

1 地域資源を使った特産品の開発・販売

特産品である「安納いも」を中心に「いも味噌」や「ドレッシング」「焼肉のたれ」「お菓子」を製造し、市内のスーパーや物産館等で販売しています。また、市内で開催されるイベントでも出張販売を行っています。

2 グリーンツーリズム事業

- ①修学旅行生の体験活動受け入れを積極的に行っています。いも掘り体験や黒糖づくり、安納いもチップスづくりなど安納校区でしか体験できないメニューを提案しています。
- ②一般旅行者の体験受け入れも行い、メニューの中に古くから安納海岸に伝わる瀬風呂を沸かした足湯体験も取り入れています。
- ③西之表市グリーンツーリズム推進協議会と連携して修学旅行生等民泊の受け入れを始めました。



▲安納いもを練り込んでつくるまるぼうろ



▲東京での出張販売の様子



アクセス *access*

- 西之表港から車で15分
- 西之表市内から車で10分
- 種子島空港から車で40分

あんのう じりつきょうぎ かい よかとこ安納自立協議会

代表者／原田敏郎

所在地／〒891-3102 西之表市安納199

連絡先／TEL:0997-25-1068 FAX:0997-25-1068

■受賞歴

平成23年 鹿児島県共生・協働型地域コミュニティづくり部門優秀賞

活動事例 76

ジュントス



平成23年度コミュニティ活動報告会の様子

団体の紹介 *introduction*

福祉の推進,文化・芸術・スポーツの振興などを含めた幅広い分野での街づくり・人づくりを目的とする活動を,各団体・行政機関・地域住民と一緒に協力し合い実行に移すことにより,広く公益に寄与することを目的としています。



体験型修学旅行(陶芸)

主な活動内容 *action*

1 体験型修学旅行の誘致

体験型の修学旅行を誘致することで地域の活性化を図っています。
○広島城北中学校・広島大学付属高校・大阪西成高校
○AICJ中学校など



体験型修学旅行生の昼食の様子

2 共生・協働のむらづくり
活性化事業

標記助成事業を活用し,過疎に悩む地区に,軽トラックによる固定した市を定期的で開催すると同時に,同地区の無形民俗文化財である盆踊りの若い担い手を育成するため,地元の小中学生を対象に公民館等で指導を行い,軽トラ市等を発表の機会としました。

3 ふるさと雇用再生特別
基金事業

種子島は鉄砲伝来で有名ですが,鉄砲鍛冶の技術は,その後,種子鋏(たねばさみ)として残されており,鹿児島県から「伝統工芸品」の指定を受けています。後継者の育成が課題となっているため,標記事業を受け,種子鋏製作技術者の育成をめざし,1名の技術後継希望者を雇用し,その一助を担っています。

メッセージ
Message

平成12年度設立で,国内でもかなり早い時期に結成したNPO団体です。副市長・市議会議員など多くの人材を輩出した団体で,今後も変わらず地域の公益に寄与していきたいと思えます。

特定非営利活動法人 ジュントス

代表者／榎本孝
所在地／〒891-3113 西之表市東町7-4
連絡先／TEL:0997-22-1460
Email / juntos@po3.synapse.ne.jp
ホームページ <http://www3.synapse.ne.jp/juntos/>



利用者の皆さんとスタッフ(就労支援施設「風の街」の前で)

団体の紹介 *introduction*

種子島において、在宅の障がい者・高齢者が地域の中で自立した生活を送れるよう支援活動を行っています。



利用者の皆さんによるお菓子づくりの様子

主な活動内容 *action*

1 障害者自立支援法に基づく障害福祉サービス事業

居宅介護事業、就労支援事業、生活介護事業等を行っています。平成25年に開設した就労支援施設「風の街」では、レストラン営業や地元の野菜等の販売を行っており、地元の方々と障がい者の皆さんの交流の場ともなっています。

2 その他の障がい者・高齢者の支援事業(法に基づかない支援事業)

障がい者や高齢者の皆さんを対象とした宿泊体験事業や「さーくる活動」を行っています。

3 介護保険法に基づく事業など

介護保険法に基づく通所介護事業、有料老人ホーム事業や福祉有償移送サービス事業を行っています。



廃油を利用したバイオディーゼル燃料づくりの様子



就労支援施設「風の街」

メッセージ
Message

「楽しく」「元気に」「安心して」を目標に、離島だからこそ、より充実した地域に密着した支援を目指します。

特定非営利活動法人 こすも

代表者／松岡勝廣
所在地／〒891-3601 熊毛郡中種子町納官6079番地
連絡先／TEL:0997-24-8820
Email／kosumo@leaf.ocn.ne.jp

活動事例 78

くきなが どりつむら あかごめ せんごくむら
茎永ミニ独立村「赤米のふるさと千石村」

茎永地域探訪(子どもたち向けの茎永の歴史体験活動)昔ならではの、もちつきの様子

団体の紹介 *introduction*

種子島南種子町の茎永に古代から伝わる貴重な「赤米」。その赤米作りは、地域のつながりの象徴です。本団体は、茎永地区の地域おこしを目的に組織された団体で、平成9年に発足しました。



お田植え祭りの様子

主な活動内容 *action*

1 赤米の栽培と販売

自主財源づくりと、赤米の栽培を通じて会員同士の連携を深めています。

2 茎永秋祭りの実施

2年に1回実施。地域の人たちの笑顔のために、茎南小学校の体育館を会場に、宝満神楽や芸能や踊り、劇、歌謡など盛りだくさんの内容で秋祭りを催します。

3 その他ボランティア活動

子どもたちへの伝統文化の伝承事業、茎永の美化活動などを行っています。

メッセージ
Message

昔、中国は、種子島を「甌州(たんしゅう)」と言いました。「穀物がいっぱい実る島」という意味です。宝満宮紀にも、「雌雄神降りて、初めて穀種をまく、故に種子島」と書かれていて、その中心が茎永です。茎永は、自然環境や地域資源に恵まれ、人情豊かで、住みよい茎永・住んでみたい茎永として認識され、更に赤米の源郷・たねがしま赤米館、宝満神社、宝満神楽、赤米のお田植え祭り、科学の先端を行く宇宙開発の地として知名度が高いです。それを更に発展させるため千石村を結成しました。

茎永ミニ独立村「赤米のふるさと千石村」

代表者／池亀幸宣
所在地／〒891-3703 熊毛郡南種子町茎永206番地2
連絡先／TEL:0997-26-7728



ふ化調査(屋久島町いなか浜にて~H24.8.12)

団体の紹介 *introduction*

ウミガメ保護を介して砂浜を守るために発足しました。北半球で最も高密度にアカウミガメが産卵する地を次世代に繋ぐために日々活動しています。



日本、海外からのボランティア(屋久島町永田のカメハウスにて~H24.8.11)



遮光林の植樹(屋久島町一湊海岸にて~H24.3.3)

主な活動内容 *action*

1 ウミガメの保護・調査活動

ウミガメの救出、卵・子ガメの保護活動などを行いながら、生態調査を行い、取得したデータを元に保護活動に活かしています。



屋久島町田代浜にて~H18.6.13

2 環境保全活動

浜の清掃や遮光林の植樹・管理などを行い、ウミガメの産卵や子ガメの帰海環境を守る活動を行っています。



屋久島町四ツ瀬浜にて~H24.6.29

3 啓発活動

展示資料館に訪れた方にウミガメの生態についてレクチャーを行っています。併せて教育機関向けに講習会を実施しています。



屋久島町永田のうみがめ館にて~H24.8.20

メッセージ Message

人を愛しましょう。自然を愛しましょう。地球を愛しましょう。ウミガメを通じてそれらを学びに来てください。4月末から9月までウミガメ生態調査ボランティアを募集しています。皆さまのお越しをお待ちしています。

特定非営利活動法人 屋久島うみがめ館

代表者／大牟田一美
 所在地／〒891-4201 熊本郡屋久島町永田489-8
 連絡先／TEL:0997-49-6550
 Email／umigamekan@m7.dion.ne.jp
 ホームページ http://www.umigame-kan.org/

■受賞歴など

1985年からウミガメの生態調査・保護活動を実施。1999年展示資料館「うみがめ館」を開館。2001年法人格を取得。2002年国立公園指定。2005年11月ラムサール条約登録に貢献。2011年25年間の調査報告書発行。1985年から約100万個以上の卵を移植し、ウミガメ保護に貢献。



環境イベント エコ・フェスタ2012

団体の紹介 *introduction*

環境教育事業、生活環境についての研究・調査・啓発事業を行い、地域の環境文化創造と持続可能な社会の構築を目的としている団体です。



CO2モデル事業 エコドライブ講習会



里エコ事業 彼岸花植栽

主な活動内容 *action*

1 鹿兒島低炭素社会モデル創造事業「屋久島地域づくり促進事業」(鹿兒島県委託事業)

環境学習会の開催、環境家計簿やエコドライブの推進を通してCO2フリーの島を目指した地域ぐるみの地球温暖化防止啓発事業を展開

2 地域社会プログラム「屋久島“里エコ”プロジェクト事業」(財トヨタ財団地域社会プログラム助成事業)

集落の魅力や文化の発掘・再発見を通して、里のエコツーリズムにつながる自然環境保全と地域の活性化を図る事業を展開

3 「自然と共に生きた民の生活史-屋久島民具ものがたり」出版事業(全日本社会貢献団体機構平成24年度社会貢献活動助成事業)

島の民具から見える人の暮らしをイラストと文章で表現した絵本を出版し、自然と共生していた時代の島の暮らしを紹介し、広く環境意識の啓発につなげる事業を展開

4 環境保全へのメッセージを込めた「環境イベント」開催事業

環境意識の啓発、地域連携を促進するため、定期的に環境イベント「エコ・フェスタ」を開催。地域のネットワークを構築し、よりよい環境を目指して意識の共有をはかる場を提供、発信

メッセージ
Message

危機的な状況に至っている地球環境の現実を前に、世界自然遺産の島だからこそ伝えなくてはならないメッセージがあります。屋久島には類まれな自然だけでなく、自然と共に生きてきた地域の歴史があることを踏まえ、人と人の絆を再構築するところから、新たな持続可能な社会の実現を目指していくことがこの地で活動してきた当NPOの役目であると信じています。

特定非営利活動法人 屋久島エコ・フェスタ

代表者／古居智子
所在地／〒891-4405 熊毛郡屋久島町小島178-8
連絡先／TEL&FAX:0997-47-3206, 0997-46-2911
Email / co2@eco-festa.jp
ホームページ <http://www.eco-festa.jp>

■受賞歴など

2001年10月 南日本新聞社「環境保全団体賞」
2002年 2月 国際ソロプチミスト「クラブ賞」
2004年 5月 国際ソロプチミスト「環境学習賞」
2006年 8月 第13回コカ・コーラ「環境教育賞」
2007年10月 南日本新聞「南日本自費出版大賞」

活動事例 81

ほし はら ち く てい じゅう そく しん い いん かい 星原地区定住促進委員会



星原地区にある景勝地・雄龍雌龍の岩

星原地区定住促進委員会

代表者／田中安廣
所在地／〒891-3604 中種子町野間5186番地
連絡先／TEL:0997-27-1111
(中種子町役場企画課地域振興係)

団体の紹介 *introduction*

星原地区への定住促進活動を通じて活力ある地域づくりを目指しています。

主な活動内容 *action*

- 1 年数回会議を開き、同地区への定住に関する具体策を話し合っています。
- 2 今後、空き家情報整備と小学校への留学生制度検討を予定しています。

(補足)

本委員会は、平成19年度に星原小学校の入学児童数ゼロの状況改善のため星原校区の有志により発足し、同地区への定住促進をすすめていくことを目的として活動しています。

町は、資料作成や通知文の発送・作成、人口・高齢化率などの統計情報や定住促進にかかる助成制度など委員会の求めに応じた情報収集などの支援を行っています。

活動事例 82

ひら の じ ち こう みん かん 平野自治公民館



「平成24年度南種子町ふるさと祭り」で披露した「大踊り」の様子

平野自治公民館

代表者／中脇敏光
所在地／〒891-3705 熊毛郡南種子町西之1738-2
連絡先／TEL:0997-26-6429

団体の紹介 *introduction*

平野自治公民館会員数163人で構成された自治公民館です。近年、UIターン者も多く、青壮年部を中心とした心豊かな地域社会の実現に向け活動を展開しています。

主な活動内容 *action*

- 1 南種子町内で開催される各行事への参加
地域の郷土芸能を保存・伝承していくため、公民館活動を中心とした集落内の氏神奉納、地区の岬神社奉納やお寺奉納など毎年郷土芸能奉納踊りを実施しています。また、平成24年度においては町が主催する行事(南種子町ふるさと祭り)に集落民の協力を得て披露・奉納したところです。

- 2 旧暦8月15日「十五夜」の夜には、集落民全員が小学校の校庭で月見だんごを添えて月を観賞

子どもたちは、相撲大会、綱引きや花火大会などを行い、夜遅くまで楽しく一夜を過ごします。



集落内の石垣散策(中間集落)

団体の紹介 *introduction*

屋久島の里地の地域資源を活かした「里のエコツアー」を通して、集落独自の魅力を発信し、環境保全と経済振興の調和のとれたまちづくりを目指している団体です。



旧トロッコ道散策(宮之浦集落)



史跡めぐり(平内集落)

主な活動内容 *action*

1 「里のエコツアー」の運営

地元住民が語り部(里ガイド)となり、屋久島の史跡や名所を案内する集落散策やさまざまな体験ができるエコツアーを企画・運営しています。



屋久杉クラフト体験(春牧集落)

2 「里のエコツアー」の普及事業

「里のエコツアー」の取り組みを希望する集落への立ち上げ支援、語り部(里ガイド)の育成研修会の実施、観光客への広報活動を行っています。



語り部研修会の様子

3 体験型教育旅行の受入

体験型(農山漁村生活体験型)教育旅行の受け入れ体制を整備し、修学旅行で訪れる中高生に、屋久島ならではの体験を提供しています。



農作業の体験活動

メッセージ Message

屋久島には雄大な自然があります。また、屋久島には自然と人が深く関わってきた歴史や文化もあります。そんな屋久島の「里の魅力」にぜひ触れてください。

屋久島里めぐり推進協議会

代表者／荒木耕治
所在地／〒891-4311 熊毛郡屋久島町安房2739-343(屋久島環境文化研修センター内)
連絡先／TEL:0997-46-2900 FAX:0997-49-7015
ホームページ <http://www.yakushima.jp>

■受賞歴など

「屋久島里めぐり推進協議会」は屋久島町、公益財団法人屋久島環境文化財団、町内5集落(吉田・宮之浦・春牧・平内・中間)の代表者によって構成されています。



共生・協働型地域コミュニティづくりアドバイザー

共生・協働の地域社会づくりを進めるためには、地域コミュニティの再生・創出が不可欠です。県では、「共生・協働型地域コミュニティのあり方に関する研究会」(平成20年12月報告書を知事に提出)の意見や提言を受け、市町村における住民自治の仕組みづくりを促進するため、共生・協働型地域コミュニティの理念等の普及・啓発活動を行うほか、住民自治の仕組みづくりに取り組む市町村からの要請に応じて、学識経験者や地域のリーダーの方々をアドバイザーとして、派遣しています。

事業内容

住民自治の仕組みづくり等に取り組む市町村に対し、助言等を行うアドバイザーの派遣を行います。

派遣対象となる取組

市町村が主催する次のようなテーマに関する検討会、学習会、講演会等
(取組テーマ例)

- ① NPOと自治会等との連携方法
- ② コミュニティ・プラットフォーム(コミュニティ協議会等)の制度設計と既存組織の整合、相互発展を図る方法
- ③ コミュニティ・プラットフォーム(コミュニティ協議会等)の具体的な取組方法
- ④ その他、新たな住民自治の仕組みづくりに資する取組 など

■平成24年度の派遣実績

市町村名	期 日	アドバイザー	講演会等の名称
鹿屋市	8月23日	第一工業大学 石田尾 博夫 教授	鹿屋市町内会連絡協議会全体研修会
大崎町	9月29日	久富木区公民館 満留 民雄 館長	大崎町共生・協働推進講演会
志布志市	10月5日	大馬越地区コミュニティ協議会 水流 信雄 会長	平成24年度志布志市ふるさとづくり委員会等先進地視察
枕崎市	10月11日	法政大学法学部 名和田 是彦 教授	市民協働のための講演会
薩摩川内市	11月15日	第一工業大学 石田尾 博夫 教授	薩摩川内市48地区コミュニティ協議会会長会議講演会
鹿屋市	1月30日	大馬越地区コミュニティ協議会 水流 信雄 会長	共生・協働型地域コミュニティづくり啓発セミナー



大崎町共生・協働推進講演会



市民協働のための講演会(枕崎市)